

認知症に関する活動計画（概要）

大阪府作業療法士会では、2012年からの認知症支援推進チームの取り組みをまとめ、大阪作業療法ジャーナルにて活動を報告した。2025年度はこれまでの取り組みを振り返り、これからの認知症支援事業に大阪府士会として何が出来るかを改めてチーム員で議論し、地域における認知症支援事業により貢献出来る様、具体的な戦略を計画していく。

認知症支援推進チームの昨年度活動報告

1. 人材の育成（研修会の開催）

具体的に地域支援への参画をイメージできる内容とし、2回の研修会を実施した（表1）。加えて、研修修了者に対しては、研修内容への満足度調査を行い、認知症支援事業に関する情報提供や、地域からの支援依頼に協力できる体制づくりを目的としたメーリングリスト作成に向けたアンケートを実施した。

2024年度	
地域の認知症関連支援事業を学ぶPart1	
レカネマップについて	精神科医(精神科病院)
和泉市認知症キャラバンメイトの取り組みについて	作業療法士(訪問看護ステーション)
枚方市認知症予防教室の取り組み	作業療法士(企業)
地域の認知症関連支援事業を学ぶPart2	
若年性認知症支援関連事業	看護師(障がい者福祉サービス事業所)
認知症初期集中支援のOTの関り	作業療法士(地域包括支援センター)
認知症患者へのニューロリハビリテーションに基づいたダンスの実践	作業療法士(大学)

表1 研修会内容

2. 企業向け認知症講座業務委託事業

府士会には、市町村から初期集中支援チーム員の派遣依頼や、認知症予防教室の開催依頼などの問い合わせが複数寄せられている。市からの業務委託を受け、企業従業員を対象とした「企業向け認知症講座」を実施した。講義内容は、認知症の基礎知識に加え、地域包括支援センターや認知症疾患医療センターなどの地域資源の紹介、2024年に制定された認知症基本法およびアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の解説、さらに介護と仕事の両立を支援する制度の紹介など、多岐にわたった。（図1）



図1 企業向け研修風景